



疑問文

●文の構成

文はふつう、何についてのべるかを表わしているトピック (話題部) と、それについて具体的に何かをのべているコメント (評言部) から構成されています。トピックがある場合は、それが文頭にきます。

Az a fiú | magyar diák. あの男の子はハンガリーの学生です。

トピック コメント

●諾否疑問文

「はい」か「いいえ」を問う諾否疑問文は、文のイントネーションをかえることによって簡単にすることができます。諾否疑問文は、コメントのイントネーションが、最後から2つめの音節 (音節の中心は母音なので、最後から2つめの母音と考えてください) で上がり、文末でさがります。



Az a fiú magyar diák? あの男の子はハンガリーの学生ですか？

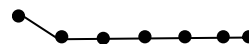
コメント部が2音節以下の場合は、文末であがって最後にさがります。



Az a fiú magyar? あの男の子はハンガリー人ですか？

●疑問詞疑問文

疑問詞を使った疑問文は、疑問詞に強いストレスがおかれ、そこから文末へ下降するイントネーションになります。親しみをこめた話し方では、文末があがることもあります。最近では文末があがるイントネーションの方がよく使われる傾向があります。疑問詞はコメントの頭にきます。疑問詞のあとには必ず動詞がきます。トピックがある場合は、まずトピックがきてから、そのあとに疑問詞ではじまるコメントが続きますので、英語のように疑問詞が必ず文頭にくる必要はありません。



Hol van a magyar diák? ハンガリー人の学生はどこですか？

●諾否疑問文の答え方

Diák vagy? 君は学生ですか？

- **Igen**, diák vagyok. はい、私は学生です。

- **Nem**, nem vagyok diák. いいえ、学生ではありません。

諾否疑問文に肯定で答えるときには、de igen と答えます。このとき、igen は省略できます。

Nem vagy diák? 君は学生ではありませんか？

- **De (igen)**, diák vagyok. いいえ、学生です。

- Nem, nem vagyok diák. はい、学生ではありません。